

過去の災害から防災意識を高めていただくために ～箕谷防災福祉コミュニティ地域総合防災訓練～

～近畿地方整備局 六甲砂防事務所～

神戸市北区箕谷地区の防災訓練の一環として、六甲砂防事務所では土石流実験や阪神大水害(昭和13年)時の山田村の被害状況パネル、六甲山地を形成する花こう岩の展示などをおこないました。

概要

日時：平成26年12月7日（日）

10：40～12：00

場所：神戸市立箕谷小学校

主催：箕谷防災福祉コミュニティ

参加人数：約60名



○六甲山地で起きた過去の土砂災害について説明

箕谷地区に近い旧山田村の阪神大水害(昭和13年)の被害状況パネルなどで土砂災害の怖さを知っていただくと共に、今年8月の台風11号で、神戸市北区を含む六甲山地周辺で山腹の崩壊や土石流が発生した事を説明しました。身近な場所で被害が発生する可能性があることを日頃から確認し、大雨などが予想される時には、気象情報や避難情報に注意し、早めの避難が大切なことをお伝えしました。

○模型による土石流実験



土石流模型を使った実験では、砂防えん堤の仕組みや効果について説明しました。参加者からは、「模型で見ることで、砂防えん堤の仕組みや効果が分かりやすい」と感想がありました。

また、六甲山地を形成する花こう岩を手にとっていただき、六甲山地の地質の脆さも実感していただきました。

【お問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局
六甲砂防事務所 調査課

〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町3-13-15
TEL：078-851-0535

